

みずほCustomer Desk Report 2021/07/08 号(As of 2021/07/07)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	110.45 AUD/USD
TKY 9:00AM	110.60	1.1821	130.68	1.3797	0.7494
SYD-NY High	110.81	1.1838	131.02	1.3842	0.7534
SYD-NY Low	110.40	1.1782	130.43	1.3758	0.7463
NY 5:00 PM	110.63	1.1792	130.45	1.3801	0.7483

NY DOW	34,681.79	104.42	日本2年債	-0.1200	▲1.00bp
NASDAQ	14,665.06	1.42	日本10年債	0.0300	▲1.00bp
S&P	4,358.13	14.59	米国2年債	0.2171	▲0.18bp
日経平均	28,366.95	▲276.26	米国5年債	0.7836	▲1.21bp
TOPIX	1,937.68	▲16.82	米国10年債	1.3221	▲2.85bp
シカゴ日経先物	28,360.00	▲45.00	独10年債	-0.2905	▲2.00bp
ロンドンFT	7,151.02	50.14	英10年債	0.6015	▲3.10bp
DAX	15,692.71	181.33	豪10年債	1.3900	▲8.90bp
ハンセン指数	27,960.62	▲112.24	USDJPY 1M Vol	5.40	0.08%
上海総合	3,553.72	23.46	USDJPY 3M Vol	5.75	0.10%
NY金	1,802.10	7.90	USDJPY 6M Vol	5.92	▲0.02%
WTI	72.20	▲1.17	USDJPY 1M 25RR	-0.25	Yen Call Over
CRB指数	209.205	▲1.04	EURJPY 3M Vol	5.83	0.08%
ドルインデックス	92.64	0.10	EURJPY 6M Vol	6.03	0.03%

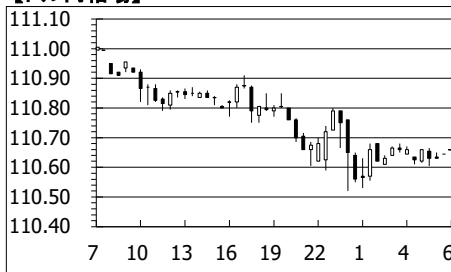
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月7日	14:00	日 景気一致指数・速報	5月 92.7	92.7
7月8日	03:00	米 FOMC議事要旨	-	「テーパリング開始の基準に向けた進展が続くと予想」

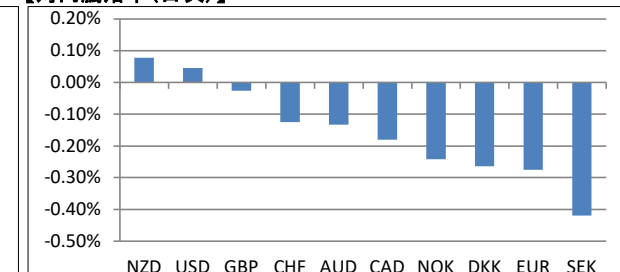
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月8日	20:30	欧 ECB議事要旨	-	-
	21:30	米 新規失業保険申請件数	3-Jul 350k	364k

【ドル円相場】



【対円騰落率（日次）】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.20-111.00	1.1730-1.1830	130.00-131.00

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円は横ばいの展開。東京時間は、前日の流れを引き継いで110.40まで下落したものの、反発して110.80台まで持ち直した。海外時間に入り、米長期金利の低下により一時的に110.50近辺まで下落するも、米国時間の午後に入れたFOMC議事要旨の公表を控えて110円台後半での狭いレンジでの取引が続く。注目の議事要旨では経済の向上きが報告されたもののテーパリングを急ぐ姿勢は示されなかったために、金融緩和縮小観測の後退でドル売り円買いとなったものの、取引終盤にかけては方向感の出にくい展開となり、前日終値近辺の110.62で取引を終えた。本日のドル円は110円台でのレンジ推移を予想。昨日同様、米金利や株式市場の動向を睨みながら、米テーパリング観測に関する見方が市場の注目となろう。

東京	東京時間のドル円は110.60レベルでオープン。序盤から日本株の軟調な推移を横目に円買い優勢の展開となり、110.40まで下落。その後、日本株が下げ幅を縮小させるとドル円は反発し、110.70まで上昇。結局110.68レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	本日ロンドン時間ドル円は110.68レベルでオープン。米長期金利や欧州株が堅調に推移した事を背景にリスクオンモード。安全通貨の円が売られ、一時は110.81まで値を上げるも、その後ポジション調整にドルが売られた。結局110.68レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	海外市場で110.40まで下落したドル円は、その後は本邦輸入企業のドル買いや投資家のドル買い意欲に110.81まで戻し、110.68レベルでNYオープン。朝方は米10年債金利が1.3%を割り込む展開に110.51まで下落する。その後は一旦金利低下が落ち着いたことから急速にドルが買い戻され110.81まで戻す。午後はFOMC議事録発表を控えた狭いレンジでの推移が続く。議事録では「数人(Several)の参加者は住宅市場のバリエーション圧力を勘案してより早期により早くMBSの購入を減らすか、米国債の購入よりも早めることに利点があると指摘」などが見られたが、効派なドットチャートを背景にした市場の効派期待を強めるようなものではないとの見方からドル売りになり、110.54まで下落する。終盤に掛けては方向感の無い推移が続く。110.63レベルでクロスした。一方、ユーロドルは独5月鉱工業生産が予想を下回ったものの、前回分が上方修正されたこと等もあり、海外市場では狭いレンジでの推移が続き1.1823レベルでNYオープン。朝方は一旦1.1838まで戻すものの、その後は急速にドルが買い戻され1.1782まで反落する。しかし1.1780は短期的なサポートと意識されていることやドル買いが一歩後退したことから1.18を挟んでの推移が続く。午後に入り明日のNY朝7時にECBが「戦略レビュー」について発表すると公表したが市場の特段の反応は見られなかった。その後はFOMC議事録を受けたドル買いに1.1821まで戻すが、その後はドルが買い戻される展開に1.1789まで下落し、1.1792レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報提供のみを目的として提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:天雲・小野崎 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	牛島	山岸	田坂	尾身	上野	山口	甲斐		
ペア	ペア	フル	フル	フル	フル	ペア	フル	ペア	フル	ペア		
小野崎	玉井	原田	上遠野	小林	鈴木	大谷	大庭	逸見	木村		フル	ペア
フル	ペア	フル	フル	ペア	フル	フル	フル	ペア	ペア		12	9